



カケハシ・プロジェクト（米国） 沖縄プログラム招へい 第1陣（Lindbergh High School）招へいの記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

沖縄プログラムは、日米両国の高校生による相互交流プログラムであり、今回は、ワシントン州シアトル市の Lindbergh High School の高校生 9 名を、日米に対する理解促進を目的として、東京都と沖縄県に招へいしました。日本滞在中は、TEPIA 先端技術館、明治神宮や原宿周辺を視察し、都民防災教育センター（本所防災館）では防災に関する知識や技術を学びました。沖縄県ではホームステイを通じて日本の文化に触れ、沖縄県立糸満高等学校との相互交流を行い、互いの理解と友情を深めました。これらの経験を通じて、日本の文化や社会に触れ、得た学びや気づきを発信しました。

【参加者】米国の高校生 9 名及び引率者 1 名 合計 10 名

【訪問地】東京都、沖縄県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

2 月 12 日（水曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】 事業目的・ミッション、日程説明、渡航上の注意、感染症対策等
来日までの指定期間 【動画視聴】 日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

2 月 18 日（火曜日） 羽田空港より入国
【来日時オリエンテーション】
2 月 19 日（水曜日） 【視察】 TEPIA 先端技術館、明治神宮、原宿（日本のポップカルチャー）
東京都から沖縄県へ移動
2 月 20 日（木曜日） 【学校交流】 沖縄県立糸満高等学校
【ホストファミリー対面式】
2 月 21 日（金曜日） 【講義】 平和講話 話者：大城 航 氏
【視察】 沖縄県営平和祈念公園、沖縄県平和祈念資料館、ぬちまーす観光製塩ファクトリー、中城城址
【ホームステイ】
2 月 22 日（土曜日） 【ホストファミリー歓送会】
沖縄県から東京都へ移動
2 月 23 日（日曜日） 【視察】 東京消防庁 都民防災教育センター（本所防災館）
2 月 24 日（月曜日） 【視察】 杉並アニメーションミュージアム
【ワークショップ】 報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
【報告会】 訪日成果・帰国後の活動計画発表
羽田空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム



2025 年 2 月 19 日【視察】TEPIA 先端技術館



2025 年 2 月 19 日【視察】明治神宮



2025 年 2 月 20 日【学校交流】
沖縄県立糸満高等学校



2025 年 2 月 21 日【講義】平和講話



2025 年 2 月 21 日【視察】中城城址



2025 年 2 月 22 日【ホストファミリー歓送会】



2025 年 2 月 23 日【視察】東京消防庁 都民防災教育センター（本所防災館）



2025 年 2 月 24 日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 高校生

本プログラムでは糸満高校訪問が紛れもなく最もお気に入りの部分でした。異なる授業に多く参加・体験でき、日本の学校生活を理解できたことがとても嬉しかったです。体験することができた、すべてのあらゆる活動はとても楽しいものでした。学校を見て回り、新しいことを学びながら、多くの日本人学生と出会い、交流する機会をもつことができました。

◆ 高校生

本プログラムで最も強く印象に残ったのはホームステイです。日本人を通して、日本文化やリアルな日本について多くを学び、日本の生活様式を体験するという素晴らしい時間を過ごしました。本当に特別な体験だったので、この7日間の滞在が9~10日など、もっと長い滞在であればなお良かったと心から思います。

◆ 高校生

本プログラムの内容は、雰囲気、各種建築物、活動、施設に至るまで、とても感銘を受けました。日本の学校、人々の身振り手振り、熱心さなど、物事の進め方が米国と日本では異なります。米国も好きですが、日本も想像していた以上に素敵であると知りました。現地に暮らす地元の人たちにとっては全て普通のことだとは思いますが、日米の異なる点全てを一度に見ることができ、とても素晴らしかったです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 交流校職員

文法などの間違いを恐れずに自分から積極的にコミュニケーションを英語で図ろうという姿勢が見られるようになりました。米国の学校生活や日常生活について授業で扱いたいと思っています。米国の生徒が送別会で別れを惜しみながら涙を流していた場面が印象的でした。

◆ ホストファミリー

受け入れた生徒は、日本語を積極的に活用していました。どこに行ってみたいですか？の問いには、あなたの1番好きな場所はどこですか？と逆質問を受けて戸惑いました。それがきっかけで私も地域の魅力を探求する事ができたのでとても良い機会になりました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

	
2025 年 2 月 20 日（Instagram） 米国 高校生 本当にありがとう。皆さんはとても素晴らしい人たちです。またお会いできることを願っています。	2025 年 2 月 20 日（Instagram） 米国 高校生 皆が恋しくなります

Kakehashi Day 3: School visit 1月にリンバーク高校に来てくれた生徒さん達と再会を果たしました。校長先生もわざわざ英語でスピーチを準備してくださっていて、感動😭 担当の先生のおかげで、とても濃い有意義な1日を過ごすことができました。どうもありがとうございました！ #kakehashi2024 #kakehashiproject 	
2025 年 2 月 20 日 (Facebook) 米国 高校生 Kakehashi Day3: School visit 1 月にリンバーク高校に来てくれた生徒さん達と再会を果たしました。校長先生もわざわざ英語でスピーチを準備してくださっていて、感動しました！ 担当の先生のおかげで、とても濃い有意義な1日を過ごすことができました。どうもありがとうございました。	2025 年 3 月 11 日 (沖縄県立糸満高等学校 HP 掲載の校長だより第 20 号) 米国の Lindbergh High School の生徒 9 名が本校を訪問し、生徒と一日を過ごしました。 書道、美術、体育、英語、家庭科の授業に参加し、日本の文化等についても学びました。 家庭科の授業では和菓子作りに挑戦し、いちご大福 を作りました。各クラス単位での交流や、清掃なども体験しました。(後略)

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表 (抜粋)

訪問地：東京都、沖縄県 全 2 グループ発表

グループ 1		
 Findings	How to use in future  - Continuing to learn Japanese - Making connections and friendships with Japanese people - Study-Work abroad	Action Plan  What: presentation to Senpai's underclassmen Who: Daisuke, Akiko, Mikael To Where: First and second year students at LHS Japanese class When: Last lesson 1st period, next semester present to 1st years Where: LHS Japanese class How: make presentation on all our findings and important information that we want to share to get people to want to study and work Japan What: presentation and poster Who: Giovanni, Ragnard To Where: Friendship class, U.S History class When: March, April Where: LHS class How: make presentation on all our findings and important information and make poster about society
【成果の発表】 ◆ 気づき - 日本の学校生活では、グループワークを大切にしています。 - ホストファミリーは、思いやりの深い人達でした。 - 建造物は洗練されていました。 ◆ この経験を将来どのように活かすか - 日本語の勉強を継続します。 - 日本人との絆と友情を築いて行きます。 - 日本に留学したり・日本で就労したりしたいです。		

【アクション・プラン】

アクション・プラン①

Lindbergh High School の日本語クラスに在籍する 1・2 年生を対象にプレゼンテーションを行います。2 年生に対する発表は 5 時限目に実施し、1 年生については次学期に行う予定です。プレゼンテーションでは、日本への訪問や日本での留学に対する関心を高めてもらうことを目的とし、自分たちが得た気づきや重要な情報を共有します。

アクション・プラン②

3 月から 4 月にかけて、Lindbergh High School の起業クラス及び米国史クラスの生徒を対象に、私達が出たプログラムで気づきや重要な情報をプレゼンテーションし、社会に関するポスターを作成します。

グループ 2



【成果の発表】

◆ 気づき

文化：古くから多くの異なる民族が集まって日本文化が形成されました。

学校：教師、職員は教育的で、科目、課外活動などは全て有意義でした

社会：便宜性と効率性を優先しています。物事がタイムリーで創造性があります。

日本人：とても親切で、他人を敬います。皆が踊り方を知っています。

明治神宮、沖縄県平和祈念資料館・公園などの各施設訪問ではそれぞれ異なる気づきがありました。

◆ この経験を日常生活にどう活かしていくか

- ・ 継続して日本語を学習します。
- ・ 日本に留学します。

【アクション・プラン】

日本語クラスの生徒を対象に、プレゼンテーションを実施します。実施時期は、2 学期末または 3 学期末を予定しています。

日本に関するプレゼンテーションを通じて、学生の日本語や日本文化の学習・参画を促し、他の学生の関心を更に高めることを目的としています。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）